

TOTO

東陶機器株式会社

【修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」(20~21ページ)をご確認ください。】

修理・取扱いのご相談は

まずお求めの取付店・販売店へ

取付店	〒		印
販売店		電話	-

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は下記TOTO窓口へ

お客様専用窓口

商品の
お問い合わせは

TOTOお客様相談室へ

☎ 0120-03-1010

受付時間：平日 9:00-18:00
土・日・祝日 10:00-18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)補修部品の
ご購入はお求め取付工事店
又はTOTOパーツセンターへ

☎ 0120-8282-55

受付時間：平日 9:00-18:00
土・日・祝日 10:00-18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

修理のご依頼は



東陶メンテナンス(株)へ

☎ 0120-1010-05

受付(年中無休)
受付時間：関東・甲信越地区 8:00-20:00
上記以外の地区 9:00-20:00
訪問修理(年中無休)
営業時間：9:00-18:00インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

TOTO

工事店様
へのお願い保証書に、貴店名ならびにお取付日をご記入の上、お客様に必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

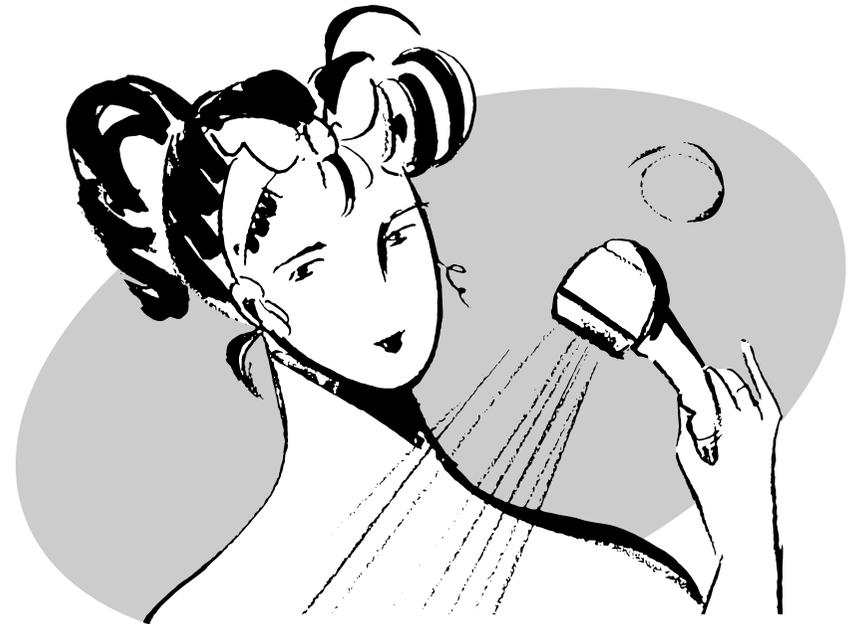
取扱説明書

定期点検情報掲載

電温ユプロ<給湯専用>

RE2011/RE2011B

RE3711/RE3711B



- このたびは、TOTO電気温水器をお求めいただき、まことにありがとうございました。
- ご使用前にこの説明書と保証書をお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書と保証書は大切に保管し、わからないときは読みかえしてください。

ご使用の前に

使用方法

点検・お手入れ他

■カンタン操作

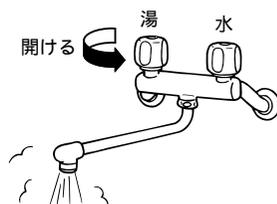
深夜にお湯をわかしていますので出湯は給湯栓を開けるだけ。

約85/65℃のお湯が出ます。

温度の切替方法は、10ページの「わき上げ温度設定のしかた」をご覧ください。

湯水混合栓でお好みの湯温に調節してお使いください。

湯水混合栓の使用方法は、11・12ページの「お湯を使う」をご覧ください。



■お湯は大切に

1日に使用できるお湯の量は限られています。

お湯は大切にお使いください。

特に冬季は水温が低くなり、ムダな使い方をすると湯量不足になり、お湯が使えなくなります。

- 食器の流し洗いはお湯のムダ使いになります。お湯は容器に受けて使うとムダがなくなります。
- お風呂の湯温を高くしたいときは、お湯を少し減らしてから足し湯を行ってください。
- 入浴は、できるだけ深夜通電時間帯（午後11時～午前7時…一部の地域では異なります）を避けて入浴してください。深夜通電時間帯にお湯を使うと翌日の湯温が低くなり、湯量不足になる場合があります。
- 浴槽には冷めやすいものもあります。入浴後はふたをしてください。



特に注意していただきたいこと	1
各部のなまえとはたらき	6
使用前の準備	9

お湯を使う	11
-------	----

定期的な点検	13
日常のお手入れ	14
こんなときは	15
凍結による破損の予防について	19
故障かな?と思ったら	20
定期的な部品交換のお願い	22
アフターサービス	23
仕様	24

✦ 特に注意していただきたいこと ✦

<安全に正しくお使いいただくために>

この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告:

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意:

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については、つぎのような意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		感電注意
	分解禁止		必ず実行
	接触禁止		高温注意
	アース工事		

警告

やけどに注意

給湯時は湯水混合栓に手を触れないでください。
(やけどのおそれがあります。)



接触禁止

シャワーを浴びるときは、指先等で温度を確かめてから。
(湯温を確認せずにシャワーを浴びるとやけどのおそれがあります。)



高温注意

お湯を使うときは、まず水から。



必ず実行

使用後は必ず湯側から閉めてください。
(水側を先に閉めると、再使用時に熱湯が出てやけどをするおそれがあります。)



必ず実行

逃し弁の動作確認時は、逃し弁・排水口に手を触れないでください。
(やけどのおそれがあります。)



接触禁止

タンク内の熱湯を直接排水しないでください。
(やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。)



禁止

✦ 特に注意していただきたいこと ✦

⚠ 警告

機器の設置(及び付帯工事)

機器の設置・移動及び付帯工事はお買い上げの販売店または工事店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。
(設置工事に不備があると事故の原因になります)

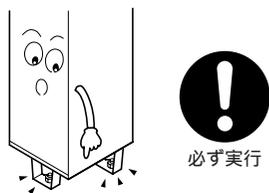
アース工事を確認する

アース工事がされているか確認してください。
(故障、漏電のときに感電の原因になります)



本体が固定されているか確認する

本体の脚がアンカーボルトで固定されているか、また、本体上部が上部振れ止め金具で壁に固定されているか確認してください。
(本体が倒れてけがをするおそれがあります)



異常時の注意

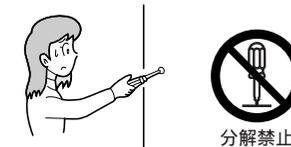
故障発生時や異常時(こげ臭い、本体及び配管部分からの水漏れなど)は配線用遮断器のレバーを「OFF」(切)にして止水栓を閉じ、お取付け店又は東陶メンテナンス(株)に連絡してください。また、高温の湯が出るおそれもあり危険ですので、お湯の使用・入浴を中止してください。停電時についても、タンク内の高温のお湯が出るおそれがあるので注意してください。



⚠ 警告

分解・改造しない

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
(故障、感電の原因になります)



近くにガス・灯油類や引火物を置かない

電気温水器の近くにガス、灯油類や引火物を置かないでください。
(発火、火災の原因になります)



⚠ 注意

みだりに飲用はしない

長時間たまっていたお湯は飲料用に用いないでください。
(水質の変化により下痢、腹痛などをおこす場合があります)



水道水以外は使用しない

(井戸水等を使用すると腐食等により漏水するおそれがあります)



必ず湯水混合栓の湯側から水が出ることを確認してから、配線用遮断器、温水器の電源スイッチを「ON」(入)にする。
(7・8ページ)



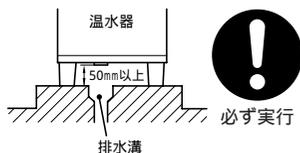
(ヒータが空だきとなり故障の原因になります)

✦ 特に注意していただきたいこと ✦

⚠ 注意

**排水口は、排水溝より50mm
以上離れているか確認する**

(排水が逆流するおそれがあります)



**床面が防水処理・排水処理
されているか確認する**

(水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります)

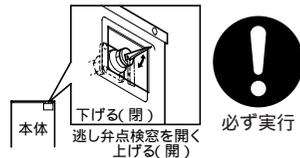


逃し弁を点検する

必ず月に1回逃し弁の点検をしてください。

(☞ 13ページ)

(逃し弁が作動しないと、タンクや配管に異常な圧力がかかり破損の原因になります)



減圧弁・逃し弁は必ず定期的に交換する

(☞ 22ページ参照)

(劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります、大きな被害を与えることがあります)



凍結予防対策を確認する

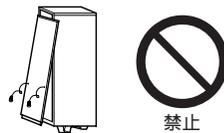
(凍結すると配管などが破裂するおそれがあります)

(☞ 19ページ)



前面カバーは絶対に開けない

(ショート、感電のおそれがあります)

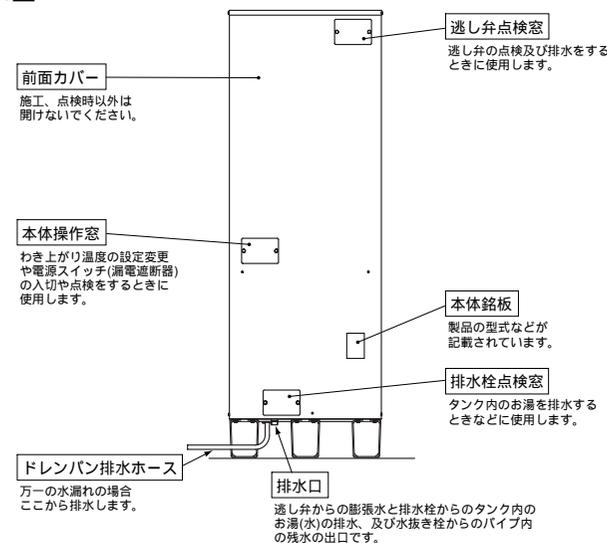


✦ 各部のなまえとはたらき ✦

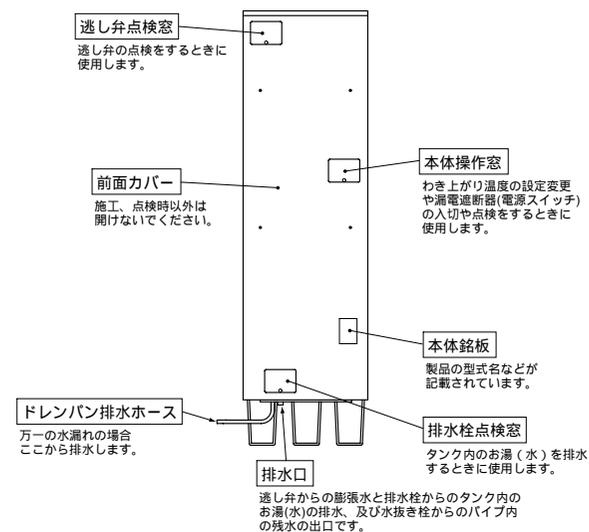
快適なお湯ライフのため、各部のなまえとはたらきを確認され、上手にお使いください。

本体外観

・RE3711型



・RE2011型

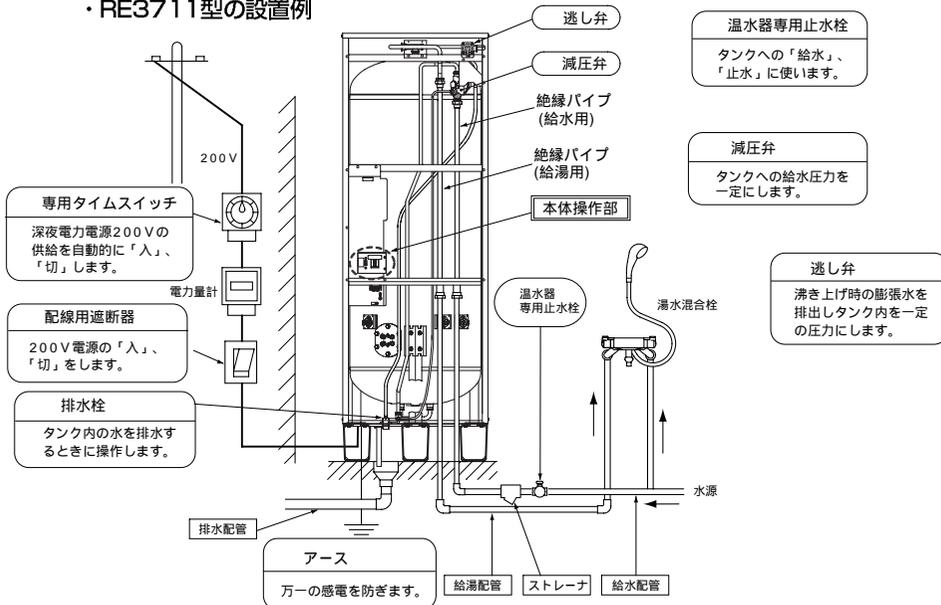


各部のなまえとはたらき
特に注意していただきたいこと

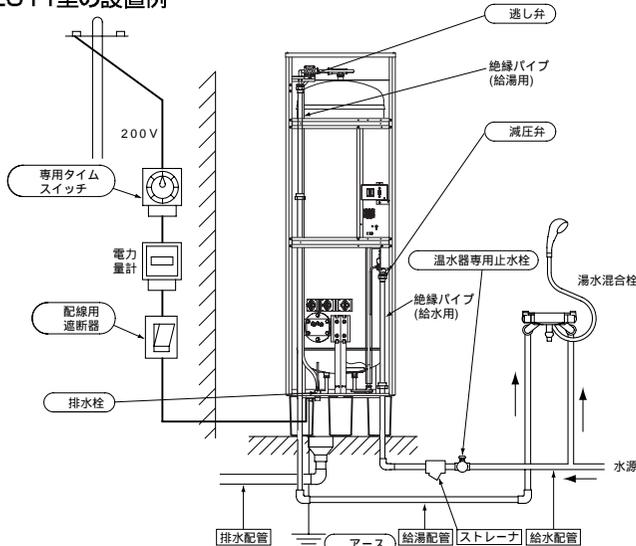
各部のなまえとはたらき

本体内観及び周辺図

・RE3711型の設置例



・RE2011型の設置例



■部品の説明

専用タイムスイッチ

深夜電力電源200Vの供給を自動的に「入」、「切」します。

温水器専用止水栓

タンクへの「給水」、「止水」に使用します。

逃し弁

沸き上げ時の膨張水を排出しタンク内を一定の圧力にします。

配線用遮断器

200V電源の「入」、「切」をします。

減圧弁

タンクへの給水圧力を一定にします。

アース

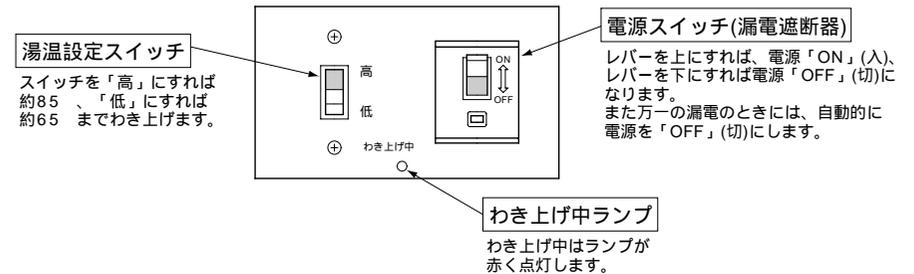
万一の感電を防ぎます。

排水栓

タンク内の水を排水するときに操作します。

本体内観

※本体内観を開けた部分



※図はRE3711型を示します。

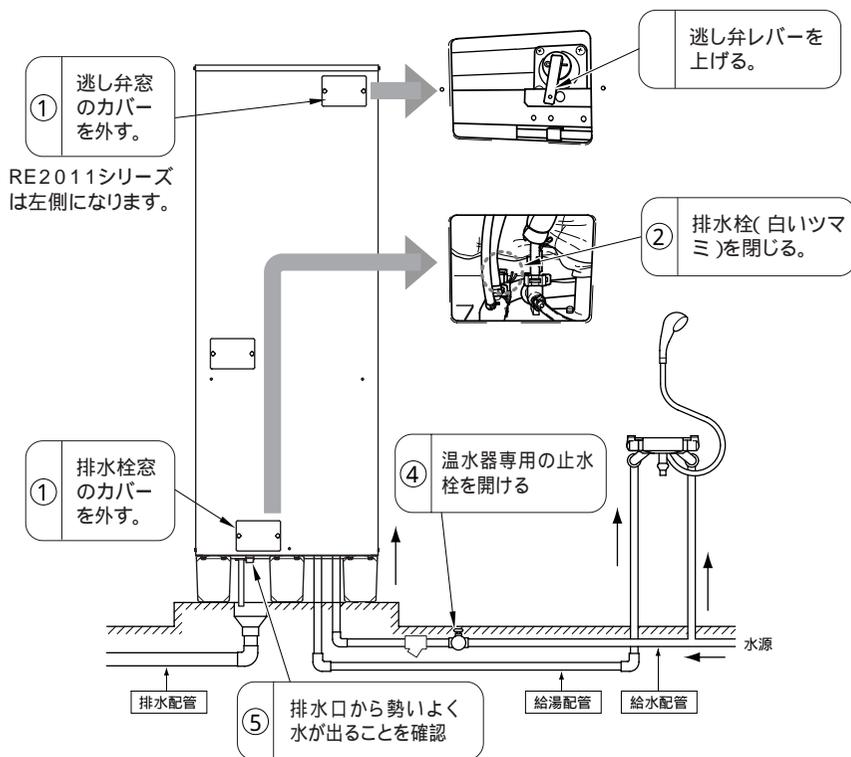
RE2011型は、湯温設定スイッチと電源スイッチが左右逆になります。

※部品の説明は次ページを参照してください。

✦ 使用前の準備 ✦

最初の給水のしかた

- ① 下部の排水栓点検窓と上部の逃し弁点検窓を外します。
- ② 排水栓が閉まっていることを確認します。(開いているときは、閉めてください。)
- ③ 逃し弁レバーを上げます。(逃し弁開)
- ④ 温水器専用の止水栓を開きます。
- ⑤ 排水口から勢いよく水が出てきたら、タンクが満水になっているので、逃し弁レバーを下げます。(逃し弁閉)
- ⑥ 下部の排水栓点検窓と上部の逃し弁点検窓を取付けます。



本図はRE3711シリーズを示す。

ちょっと一言

- 温水器専用の止水栓を開いてすぐに水がでてきても、配管の中の残水がでてきた可能性がありますのでしばらく給水してください。
- 最初は、タンクや配管内のゴミなどを流すためタンクを満水にした後、一度全部排水し、再び給水してください。(17・18ページ)

わき上げのしかた

■6～8ページの「各部のなまえとはたらき」を参照のうえ、操作してください。

- ① 湯水混合栓の湯側から水が出ることを確認します。
- ② 配線用遮断器を「ON」(入)にします。(7・8ページ)
- ③ 本体の操作窓を外し電源スイッチ(漏電遮断器)を「ON」(入)にします。
- ④ 本体の操作窓を取付けます。
- ⑤ 夜間の通電時間になると自動的に沸き上げを開始します。

※水温15℃で85℃までわかし上げる場合、約8時間かかります。
(水温が低いと長くかかります。)

⚠ 注意

■必ず湯水混合栓の湯側から水が出ることを確認してから、配線用遮断器、温水器の電源スイッチを「入」にする。

(ヒータが空だきとなり故障の原因になります。)



必ず実行

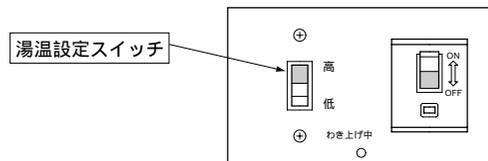
ちょっと一言

- わき上げ時間帯は午後11時～午前7時までです。(地域により一部異なります。)
- 通電すると排水口から膨張水が出ますが、異常ではありません。

わき上げ温度設定のしかた

- ① 本体操作窓を開ける。
- ② 湯温設定スイッチを「高」にすれば約85℃設定、「低」にすれば約65℃設定になります。

※RE2011型は、湯温設定スイッチが右側になります。



お湯を使う

お湯を使う前に

警告

やけどに注意

給湯時は湯水混合栓に手を触れないでください。
(やけどのおそれがあります。)



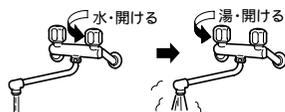
接触禁止

シャワーを浴びるときは、指先等で温度を確かめてから。
(湯温を確認せずにシャワーを浴びるとやけどのおそれがあります。)



高温注意

お湯を使うときは、まず水から。



必ず実行

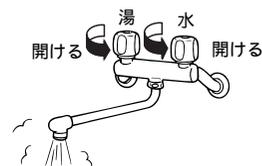
使用後は必ず湯側から閉めてください。
(水側を先に閉めると、再使用時に熱湯が出てやけどをするおそれがあります。)



必ず実行

お湯を使うには

①給水栓を開けます。

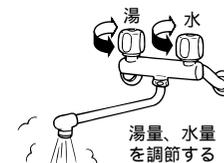


②給湯栓を開けます。

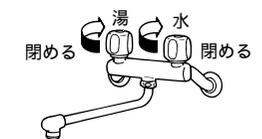
●しばらくするとお湯が出ます。

③湯量を調節します。

●湯量、水量を調節することにより、お好みの湯温に調節します。



④給湯栓を閉めます。

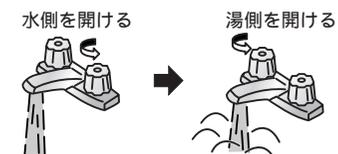


⑤給水栓を閉めます。

お湯の出しかた

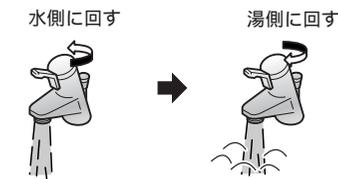
2バルブ混合栓の場合

2バルブ混合栓の場合、まず水側を開けた後に、湯側を開けて温度を調整してください。



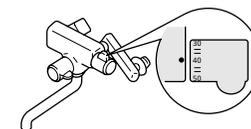
シングルレバー混合栓の場合

シングルレバー混合栓の場合は、温度調節レバーを水側にして、吐水しながらお湯側にレバーを回し、温度を調整してください。



サーモスタット付混合栓の場合

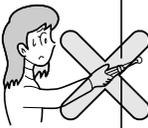
サーモスタット付混合栓の場合は温度調節ハンドルを適温(約40℃)付近にしてお湯を出してください。



⚠ 注意



分解禁止



修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
(故障、感電の原因になります)

点検の際のご注意

- 機器の前面カバーは外さないでください。
- まわりにガス・灯油類や引火物はありますか？



危険なものや不要なものは取除いてください。

本体の水漏れ確認 (1日1回)

- 電気温水器を設置した床面など周辺に水が漏れてないか確認する。
(特に集合住宅では漏水が階下へ被害をあたえます。)

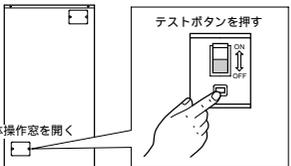
漏水をしている場合は、止水栓又は元栓を閉め、お取付け店又は東陶メンテナンス(株) ☎ 0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。



漏電遮断器の動作確認 (月1回)

- 月に一度、漏電遮断器のテストボタンを押して動作確認をしてください。
深夜通電時間帯に漏電遮断器のテストボタンを押すと「入」(ON) → 「切」(OFF) になれば正常です。(漏電のときには感電の原因になります。)

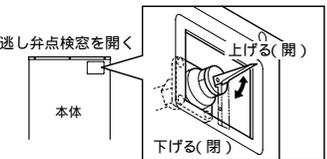
テストボタンを押しても「切」(OFF) にならない場合は、お取付け店又は東陶メンテナンス(株) ☎ 0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。
また確認後は、必ず「入」(ON) に戻してください。



逃し弁の動作確認 (月1回)

- 月に一度、逃し弁のレバーを2~3回上げ下げして必ず動作確認をしてください。
レバーを上げた時に排水口より排水し、下げた時に排水が止まれば正常です。
(逃し弁が作動しないと、タンクや配管に異常な圧力がかかり破損の原因となります。)

逃し弁が作動しない場合は、止水栓又は元栓を閉め、お取付け店又は東陶メンテナンス(株) ☎ 0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。



タンクのお手入れ (月1回)

- 月に一回程度タンクの下部にたまった汚れを排水してください。(☎ 17ページ)

- ① タンク下部の温度を下げるために、約バケツ1杯分のお湯を使用してください。
- ② 温水器専用の止水栓を閉じます。
- ③ 本体の前面カバーの点検窓(3つ)を全て外します。
- ④ 本体の電源スイッチのレバーを「OFF」(切)にします。
- ⑤ 逃し弁のレバーを上げます(逃し弁開)。
- ⑥ 排水栓を開きます。
- ⑦ 汚れた水がきれいな水に変わったら排水栓を閉じます。
- ⑧ 排水が終わったら、温水器専用の止水栓を開きます。
- ⑨ 排水口から水が出てきたら逃し弁のレバーを下げます(逃し弁閉)。
- ⑩ 電源スイッチのレバーを「ON」(入)にします。

①③で外した前面カバーの点検窓(3つ)を取付けます。

機器外装の手入れ (月1回)

- かたく絞った布でふいてください。
汚れがひどいときは適量にうすめた中性洗剤をふくませた布でふいてください。
※酸性・アルカリ性の洗剤やシンナーなどは割れの原因になりますので使用しないでください。



⚠ 警告

やけどに注意

- 逃し弁の動作確認時は、逃し弁と排水口に手を触れないでください。
(やけどのおそれがあります。)
- タンク内の熱湯を直接排水しないでください。
(やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。)



接触禁止



禁止

ちょっと一言

- 逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、排水口より常にお湯が流れて、湯量不足の原因になります。
- 逃し弁は、水からお湯になるときの膨張分の水を排水し、タンクを圧力から守る安全装置です。
- 逃し弁が正常に動作しないと、タンクが破損し、水漏れや故障の原因になります。
- タンクのお手入れは、深夜通電時間帯をさけて、行ってください。湯切れの心配があります。

機器を移設されるときは



注意

増改築などのため機器を移設される場合は工事や調整に専門の技術が必要になりますので、必ずお買い上げの販売店又はお取引店にご相談ください。

断水のときは

- 断水時や万一の地震などの災害時は、タンクの残り湯(水)を生活用水(飲用はできません)として利用できます。(16ページ) (RE3711型のみ)

短期間お使いにならないとき

- 配線用遮断器及び本体の電源スイッチのレバーを必ず「OFF」(切)にしてから温水器専用の止水栓を閉じてください。(6～8ページ)
- 再びご使用になるときは、タンク内の水を取り換えることをおすすめします。

長期間お使いにならないとき

- 1か月以上使用しないときは、配線用遮断器及び本体の電源スイッチのレバーを必ず「OFF」(切)にしてからタンクの排水をしてください。
排水のしかたは、17・18ページの「長期間お使いにならないとき(排水のしかた)」をご覧ください。
- 再びご使用になるときは、9・10ページの「使用前の準備」をご覧ください。

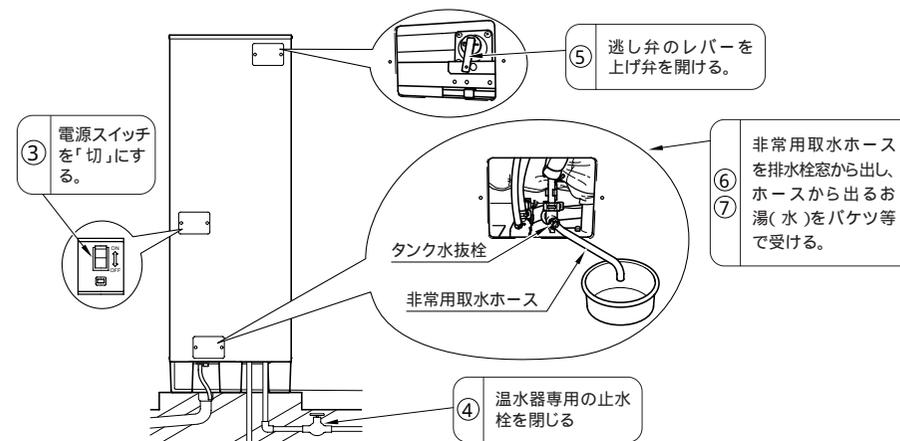
テレビやラジオに雑音が入るときは

テレビやラジオを使用中に映像の乱れや雑音が入ることがあります。また、テレビやラジオは機器本体と離れた場所でご使用ください。

断水のときなどにお湯を取り出す

断水時や万一の地震などの災害時は、タンクの残り湯(水)を生活用水(飲用はできません)として利用できます。(RE3711型のみ)

- お湯(水)を受けるバケツ等を準備してください。
- 逃し弁、本体操作窓、排水栓の点検窓(3つ)のカバーを外します。(6ページ)
- 本体の電源スイッチを「OFF」(切)にします。
- 温水器専用の止水栓を閉じます。
- 逃し弁のレバーを上げます。(逃し弁開)
- タンク水抜栓についている非常用取水ホースを排水栓窓から出します。
非常用取水ホースがタンク水抜栓から抜けないように注意してください。
- タンク水抜栓を回して、お湯(水)を取り出します。
ホースから出るお湯(水)をバケツ等で受けてください。
タンク水抜栓はゆっくり回して湯(水)が出てくる位置で止め、外れないようにしてください。外れると勢いよくお湯が吹き出し、やけどのおそれがあります。
取水中、タンク水抜栓と非常用取水ホースは熱くなることがありますので、やけどに注意してください。
- 取水が終わったらタンク水抜栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げます。(逃し弁閉)
再給水するときは、「使用前の準備」(9・10ページ)にしたがって行ってください。



警告

やけどに注意

取水時は、やけどに注意してください。
取水中、急に熱湯(最高約85℃)が出る場合があります。



高温注意

長期間お使いにならないとき（排水のしかた）

- 長期間使用しない場合は凍結のおそれがありますので、排水してください。
（通常の排水は、14ページの「タンクの手入れ」をご覧ください。）

【排水手順（18ページ参照）】

- ① タンク内の温度を下げるため、お風呂などに給湯してお湯を使い切ってください。
- ② 温水器専用の止水栓を閉じます。
- ③ 本体の前面カバーの点検窓（3つ）を全て外します。
- ④ 本体の電源スイッチを「OFF」（切）にします。
- ⑤ 逃し弁のレバーを上げます。（逃し弁開）
- ⑥ 排水栓を開けます。
（排水口より排水が始まり、約40～50分で水が抜けます。）
- ⑦ 水が抜け終わった後、最後にタンク水抜栓（非常用取水ホース付き）を開けます。
（RE3711型のみ）
- ⑧ ③ で外した前面カバーの点検窓（3つ）を取付けます。

⚠ 注意

■ 排水栓は再給水されるまで開いたままにしてください。

（排水栓を閉じると、タンク内が負圧になり、変形・破損のおそれがあります。）



必ず実行

⚠ 警告

■ やけどに注意

タンク内の熱湯を直接排水しないでください。
（やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。）

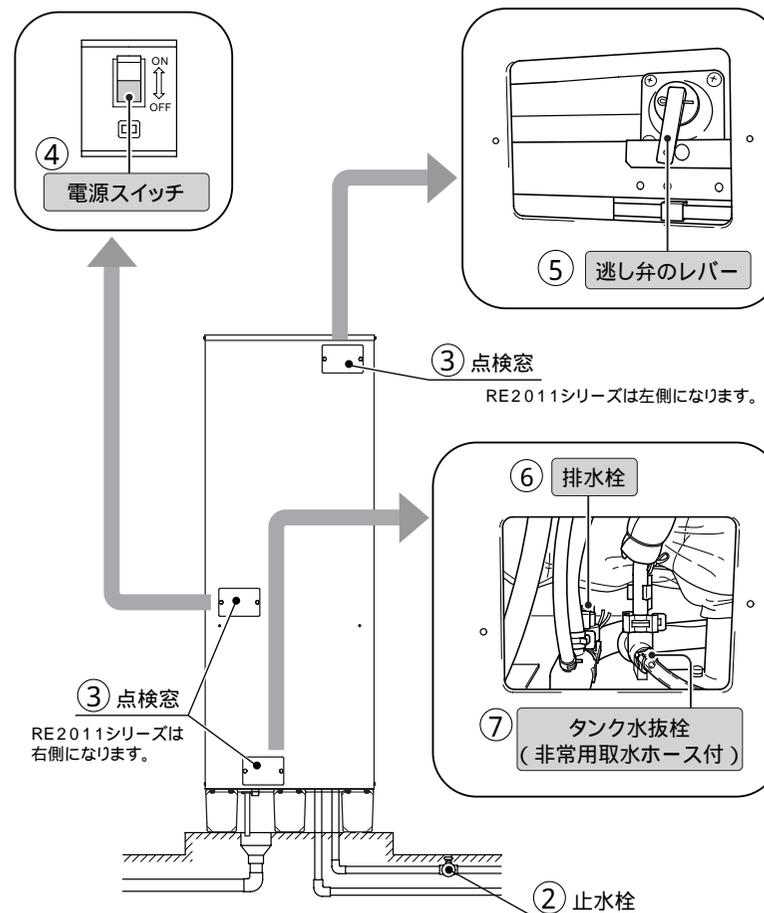


禁止

再給水のしかた

- 再給水を行う場合は、9・10ページの「使用前の準備」をご覧ください。

■排水手順



図はRE3711シリーズを示す。

ちょっと一言

- 断水時や万一の地震などの災害時は、タンクのお湯（水）を生活用水（飲用は不可）として利用できます。（16ページ）

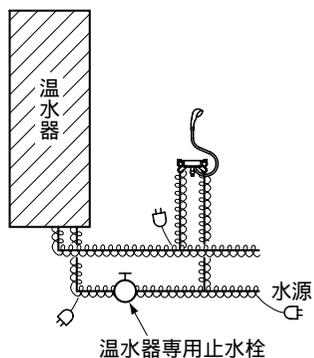
⚠ やけどにご注意ください

❖ 凍結による破損の予防について ❖

- 冬季は寒冷地だけでなく、暖かい地域でも周囲温度が0℃以下になる場合には、減圧弁、逃し弁や配管が凍結し、お湯が出ないばかりでなく、水漏れなどの原因になります。
- 凍結によって破損すると保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結予防対策としては、「凍結予防ヒータによる方法」、「少量の水を流し続ける方法」があり、地域に応じた対策が必要です。どの方法で施工されたのかお取付け店に確認し、その方法にしたがって実施してください。

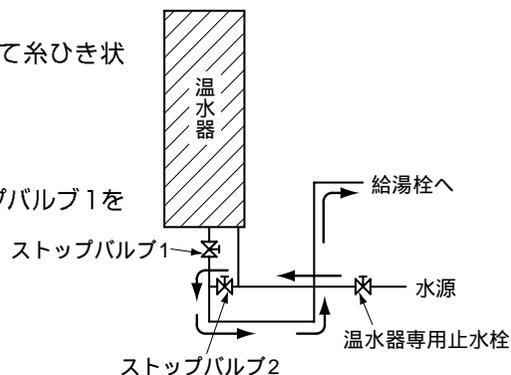
凍結予防ヒータによる方法

- 凍結予防ヒータが図のように巻かれているかを確認してください。
- 凍結予防ヒータは何本も使用されていますので、すべてのヒータのプラグをコンセントに差し込んでください。
- 凍結しない季節は安全のためコンセントからプラグを抜いてください。



少量の水を流し続ける方法

- 配管の水を流しながら、凍結を予防する方法です。
- ① ストップバルブ1を閉じ、ストップバルブ2を開きます。
- ② 各給湯栓・湯水混合栓を少し開けて糸ひき状態で水を流します。
- 〈翌朝使用するとき〉
- ① 各給湯栓・湯水混合栓を閉じます。
- ② ストップバルブ2を閉じ、ストップバルブ1を開きます。



❖ 故障かな？と思ったら ❖

⚠ 注意



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないください。
(故障、感電の原因になります)



修理を依頼される前に

こんなとき	理由
お湯が白く濁ってみえる。	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい気泡になって出てくる現象です。ビール等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害なものです。
お湯から油や臭いが出る。	初めて使うときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混じって出る場合がありますが、数日使用すると消えます。
急にお湯の出が悪くなった。	他の給湯栓と同時に使用していませんか？
お湯の出が遅い。	機器本体から給湯栓までの距離があれば少し時間がかかります。
機器の排水口からお湯が出る。	お湯を沸かし上げる際にタンクの圧力が高くなり逃し弁からお湯（膨張水）が出ますが異常ではありません。
給湯栓を閉めたときに衝撃音がする。	給湯栓を急閉止したときに、水圧によって発生する音です。
給水・給湯配管に水滴が付着する。	外気温に対して水温が低い場合、空気中の水分が結露して付着します。
浴槽の水が青く見える。	水質によっては、機器の設置後まもなくして発生することがあります。これは、銅パイプの銅イオンが溶出して青く見えるもので、人体には無害なものです。浴槽に付着しないようこまめに掃除をしてください。

故障かな？と思ったら
凍結による破損の予防について

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に

こんなとき	お調べいただきたいこと	していただきたいこと
お湯が出ない。 お湯の出が悪い。	温水器専用の止水栓は開いていますか。	閉じていたら、開いてください。
	断水ではありませんか。	水道局へ問い合わせてください。 断水が終わるまで待ってください。
	配管部分が凍結していませんか。	とけるまで待ってください。 凍結予防ヒータを巻いてください。
お湯がわからない。	配線用遮断器又は漏電遮断器(電源スイッチ)が「OFF」(切)になっていませんか。	「OFF」(切)になっているときは、「ON」(入)にしてください。 ※2度、3度と「OFF」(切)になる場合は、故障の恐れがありますので、お取付け店又は東陶メンテナンス(株) ☎0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。
	温水器用電力量計が動いていますか。 (午後11時~午前7時の間) 地域により一部異なります。	
お湯の出が少ない。	給湯全は十分開いていますか。	十分に開いてください。
	他の給湯全と同時に使用していませんか。	複数の箇所て給湯を同時使用すると、お湯の出が悪くなる場合があります。
お湯がぬるい。 お湯が足りない。	深夜電力の通電中にお湯をたくさん使用していませんか。	翌朝までお待ちください。
	いつもに比べてお湯をたくさん使用しませんでしたか。	
	タンクへの給水温度が低温ではありませんか。	温水器の残湯量がなく、給水温が10℃以下では85℃までわき上がらないことがあります。
	逃し弁の排水口から昼間もお湯が流れ出ていませんか。	逃し弁の動作確認をしてください。 (☞ 13ページ) ※お湯が止まらないときは、お取付け店又は東陶メンテナンス(株) ☎0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。
	給湯、給水管から水漏れしていませんか。	お取付け店にご相談ください。
	湯温の設定は「高」になっていますか。	湯切れするときは、湯温設定スイッチを「高」(85℃) にしてご使用ください。
	電力契約が、第2深夜電力(5時間) 契約になっていませんか。	お取付け店又は所轄の電力会社にご相談して、電力契約の変更をお願いします。

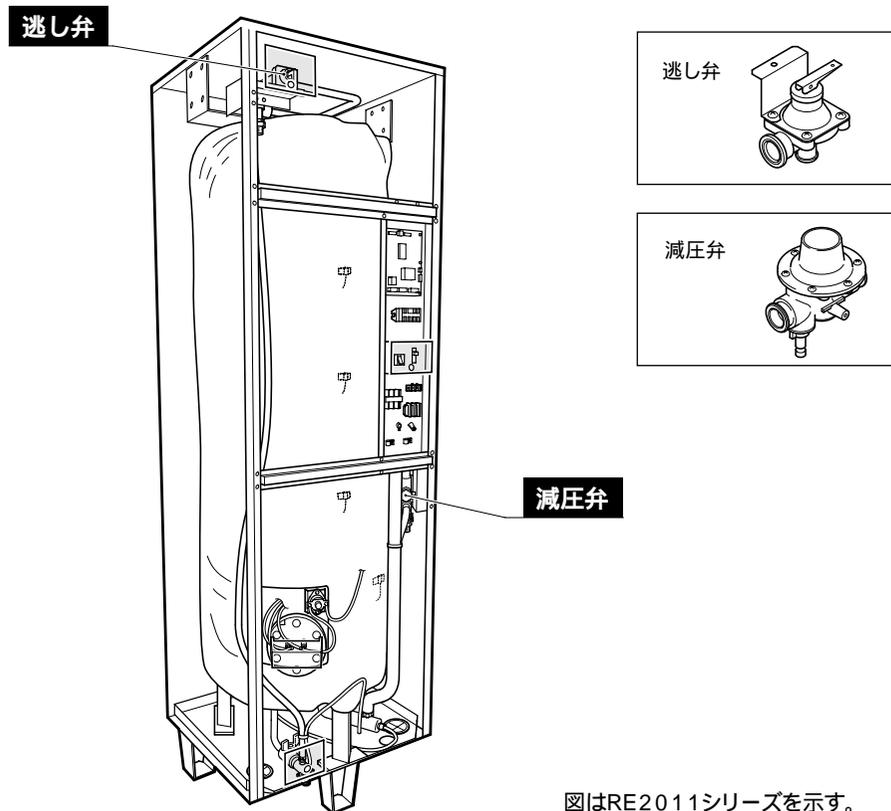
定期的な部品交換のお願い

安全・快適にご利用いただくために、以下について定期的に部品の交換が必要です。

減圧弁・逃し弁は劣化により機能の低下や水漏れする可能性がありますので定期的に交換してください。(有料)
部品の寿命における、一般的な交換時期のめやすは以下の通りです。

部品名	交換時期のめやす (お取付け日より)	交換の理由
逃し弁	5年	長期間使用すると、水質・わき上がり温度・使用頻度など使用する条件によって変わりますが、弁体が水中のスケールによって動かなくなったり、腐食し水漏れしたりすることがあります。水漏れが起きた場合、大きな被害を与えることがあります。
減圧弁		

なお、交換についてはお取付け店又は東陶メンテナンス(株) ☎0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご相談ください。



図はRE2011シリーズを示す。

故障かな?と思ったら

定期的な部品交換のお願い

点検・修理を依頼される前に「故障かな?と思ったら」(20~21ページ)を見て、もう一度ご確認ください。

保証書(製品に同梱されています。)

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されます。必ず「お取付け店・お取付け日・扱者印」が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証について

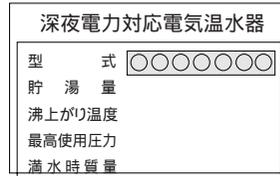
- 保証期間中は
保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書・施工説明書、貼り付けラベルなどの注意にしたがっていない場合の不具合など」は有料になります。
- 保証期間を過ぎていたときは
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
「修理を依頼されるときは」「修理料金のしくみ」(本ページ内)をご確認ください。

修理を依頼されるときは

- 修理を依頼されるときは、お取付け店または東陶メンテナンス(株)にご相談ください。
- 点検・修理をお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
 - ① 型式(電気温水器に貼ってある銘板で確認 6ページ)
 - ② 不具合現象の内容
 - ③ 取付年月日
 - ④ お名前・住所・電話番号
 - ⑤ お宅までの道順

銘板

型式をご確認ください。



ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ 0120-03-1010 受付時間：平日 9:00~18:00 土・日・祝日 10:00~18:00 (夏期休暇・年末年始を除く) インターネットホームページ http://www.toto.co.jp/	アフターサービスについてのご用命は東陶メンテナンスへ 0120-1010-05 受付時間：関東・甲信越地区 8:00~20:00 ；上記以外の地区 9:00~20:00
---	--

修理料金のしくみ<東陶メンテナンス(株)にご依頼の場合>

修理料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。

補修用性能部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品の製造打切り後、10年保有しています。

なお、補修用性能部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

部品の交換について

無料修理により交換された部品・製品は、東陶機器(株)の所有となります。

製品仕様

型 式	RE3711/RE3711B ※	RE2011/RE2011B ※
名 称	深夜電力対応電気温水器	
タ イ プ	角型配管内蔵型(給湯専用タイプ)	
設 置 形 態	屋内・屋外・マンション兼用型	屋内・軒下・マンション兼用型
適 用 電 力 制 度	深夜電力8時間通電型	
貯 湯 量	370L	200L
電 源	深夜電力	主電源
契 約 時	深夜電力：単相200V	
定 格 消 費 電 力	4.4kW	2.4kW
最 高 使 用 水 圧	97kPa(逃し弁設定値)	
通 常 使 用 水 圧	85kPa(減圧弁設定値)	
給 水 元 圧	150~750kPa	
外 形 寸 法	641mm(幅)×693mm(奥行)×1865mm(高さ)	550mm(幅)×500mm(奥行)×1900mm(高さ)
製 品 質 量 (満 水 質 量)	約65(435)kg	約50(250)kg
接 続 口	給水・給湯接続口径	R3/4 おねじ
	排水接続口径	R3/4 おねじ
制 御 方 法	パイメタル式サーモによる自動温度調節	
わ き 上 がり 温 度	約85℃、約65℃	
ソ ー ラ ー 接 続	不可	
材 質	ケ ー ス	塗装鋼板
	タ ン ク	高耐食フェライト系ステンレス鋼(YUS 190)
	ヒ ー タ	高耐熱耐食合金シースヒータ
安 全 装 置	漏電遮断器・温度過昇防止器	
付 属 部 品	取扱説明書、施工説明書、保証書、化粧ネジ、サービスラベル	
	上部振れ止め金具、上部振れ止め金具止めネジ	

※ RE3711B、RE2011BはBL認定品です。